

講義コード	21H2153601	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	山田 淳一	開講期	1期
科目名	交通地理学							1期	
履修前提条件									
授業の目的	<p>交通現象の多面性から、交通地理学は地理学の中でも学際的な分野の一つとなっている。そのため、研究の方法論を踏まえることが、自らの研究の焦点を定める基礎となる。そこで、本講義の前半は、交通地理学の基本的概念の学習を通じて、交通地理学の研究方法に関する基礎的素養を習得する。後半は、交通機関の発達過程や現代社会における交通の制度や諸問題、地域との関係を講義し、現代の交通に関する基礎的教養を習得する。</p> <p>なお、この科目は教科に関する科目であり、教員の免許状取得のための選択科目である。</p>								
到達目標	<p>交通地理学の基本的概念や研究方法を理解し、交通地理学における交通の捉え方を説明できる。現代社会における交通の諸問題について概要を理解し、具体的な事例を説明し、その研究方法について考察できる。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	レポート作成。授業外学修時間：60時間								
授業計画	<p>【第1回】 交通とは 【第2回】 交通地理学における交通の捉え方 【第3回】 地理学の発達と交通地理学 【第4回】 第二次世界大戦後の交通地理学 【第5回】 航空交通と交通地理学 【第6回】 空港の整備と地域社会 【第7回】 水上交通と交通地理学 【第8回】 港湾の整備と地域社会 【第9回】 都市と公共交通 【第10回】 日本の地域公共交通政策 【第11回】 整備新幹線と並行在来線 【第12回】 道路交通と交通地理学 【第13回】 交通の情報技術と地域～地図・GIS、MM、MaaS、バスマップ～ (第5回以降はオムニバスの展開し、順番が入れ替わる場合があります)</p>								
成績評価の方法	レポート40%、授業内課題60%								
フィードバックの内容	提出されたレポートや授業内課題に対するコメントなど。								
授業実施形態について	対面授業で実施。ただし、一部授業においてはオンラインで実施する場合がある。								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『交通地理学の方法と展開』	青木栄一	古今書院	2008						
『交通学説史の研究その4』	交通学説史研究会	運輸経済研究センター	1991						
『近・現代交通史調査ハンドブック』	三木理史	古今書院	2004						
『地理情報システムによる公共交通の分析』	松原光也	多賀出版	2010						
『バスマップの底力』	全国バスマップサミット実行委員会	クラッセ	2010						
教員からのお知らせ	授業後は必ず復習して理解を深めること。交通地理学に興味のある学生は参考書の他、授業中に随時紹介する文献を積極的に読みすすめると良い。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受付けます（利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照）。								
アクティブ・ラーニングの内容	一部で反転授業を実施								
実践的な教育内容									
その他									